

第 35 回 つくば臨床医学研究開発機構シーズ評価委員会 議事概要

日 時：令和 6 年 11 月 26 日（火）13:00～17:15

場 所：筑波大学 附属病院 B 棟 11 階 紫峰ホール（ハイブリッド開催）

出席者：橋本(委員長)、黒田、須藤、高橋、田口、千葉、野口、町野、松坂、宮崎、森田、山田(武)、
山田(雅)、若松、和氣
(事務局) 辻、檜垣、加来、石田、小野瀬、迎、安保、細井、高岡、李、財部
(出席者は全員守秘義務について確認)

【議事】：

1. シーズ評価委員会委員について

- 「つくば臨床医学研究開発機構シーズ評価委員会の組織及び運営に関する細則（平成 29 年 3 月 30 日つくば臨床医学研究開発機構部局細則第 2 号）」第 3 条第 1 項各号の規定に基づく委員として、荒川委員、鈴木委員、川上委員、土屋委員の 4 名が退任し、黒田嘉宏氏、高橋智氏、野口裕史氏、松坂賢氏、宮崎洋氏、山田武史氏、若松明氏の 7 名が新委員になったこと及び橋本委員、浅井委員、町野委員、三澤委員の 4 名の肩書変更が報告された。
- 荒川委員長の退任に伴い、橋本委員が後任の委員長になったことが報告された。

2. 令和 6 年度橋渡し研究プログラム公募における preF、シーズ B の AMED 審査結果等

- 令和 6 年度公募において、筑波大学拠点（橋渡し研究支援機関）から 12 件（preF：10 件、シーズ B：2 件）を応募し、preF が 3 件（拠点外 2 件）採択された旨が報告された。

3. 令和 7 年度橋渡し研究プログラム拠点公募とシーズ支援研究費公募結果

- 筑波大学拠点としての令和 7 年度シーズ支援研究費の preF / シーズ F / F # / B / C に係る公募を令和 6 年 8 月 19 日から開始し、10 月 2 日の申請書提出期限までの応募状況について以下のとおり報告された。
 - ・ 応募総数は 21 件（自拠点 12 件、他拠点 4 件、拠点外 5 件）であったこと
 - ・ シーズ区分別の内訳は、preF が 17 件（自拠点 9 件、他拠点 3 件、拠点外 5 件）、シーズ F が 1 件（自拠点（シーズ B と重複申請）、シーズ B が 3 件（自拠点 2 件、他拠点 1 件）であったこと
- 筑波大学拠点としての令和 7 年度シーズ支援研究費のシーズ A（新規/継続）に係る公募も同時に開始し、11 月 6 日の申請書提出期限までの応募状況について以下のとおり報告された。
 - ・ 新規の応募総数は 22 件（自拠点 8 件、他拠点 1 件、拠点外 13 件）であったこと
 - ・ 令和 6 年度の新規採択シーズのうち、令和 7 年度の支援継続を希望するものは 14 件（自拠点 4 件、他拠点 2 件、拠点外 8 件）であったこと

4. シーズ A、preF、シーズ B、シーズ F の申請シーズの評価・選定の進め方

- 「筑波大学拠点シーズ A 評価実施要領（案）」が説明され、了承された。
- 「筑波大学拠点シーズ B / シーズ C / preF / シーズ F / シーズ F # 評価実施要領（案）」が説明され、了承された。同評価実施要領に基づいて、preF、シーズ B、シーズ F への応募シーズ

の評価及び選定の方法等について説明が行われた。

- シーズFとシーズBの重複申請1件については、シーズBとして一括して評価する旨の説明が行われた。採択された際のAMEDへの申請区分は拠点にて検討することとされた。

5. preF、シーズBの評価

- 委員の利益相反の有無を確認のうえ、本委員会に先立って、応募があった17件のpreF（自拠点9件、他拠点3件、拠点外5件）、3件のシーズB（自拠点2件、他拠点1件）を対象に、1シーズあたり4名の委員により行われた書面における予備評価の結果が報告された。
- 予備評価の結果に基づいて、preFの11件及びシーズBの2件についてヒアリングによる評価を行うこととされた。
その後、preFの1件（拠点外）より、申請を取り下げる旨の申し出があったことから、preFについては10件についてヒアリングによる評価を行うことが報告された。
- 引き続き、12件のヒアリングを行った。
- 大学病院臨床試験アライアンスにおける審査によって、筑波大学に対する採択推薦シーズとして、3件のpreFが選定されたことが報告された。
- ヒアリングの結果及び大学病院臨床試験アライアンスでの選定結果に基づいて、委員の評価点の平均が高かった12件のpreF（自拠点6件、他拠点2件、拠点外4件（うちアライアンス経由3件））及び2件のシーズB（自拠点2件）の計14件について拠点採択してAMED申請に向けて支援することとした。
- なお、preFにおいて拠点内シーズ8件を拠点採択することとしたが、昨年度までのAMED橋渡し研究プログラムの公募要領によると、1拠点から申請できる拠点内シーズ数は最大4件までであったため、委員の評価点の平均が下位の4件については、令和7年度のAMEDによる公募が開始された際の要項に従って対応する（申請数制限の対象となった場合には、筑波大学拠点からの申請を見送る）ことを条件として採択することを確認した。